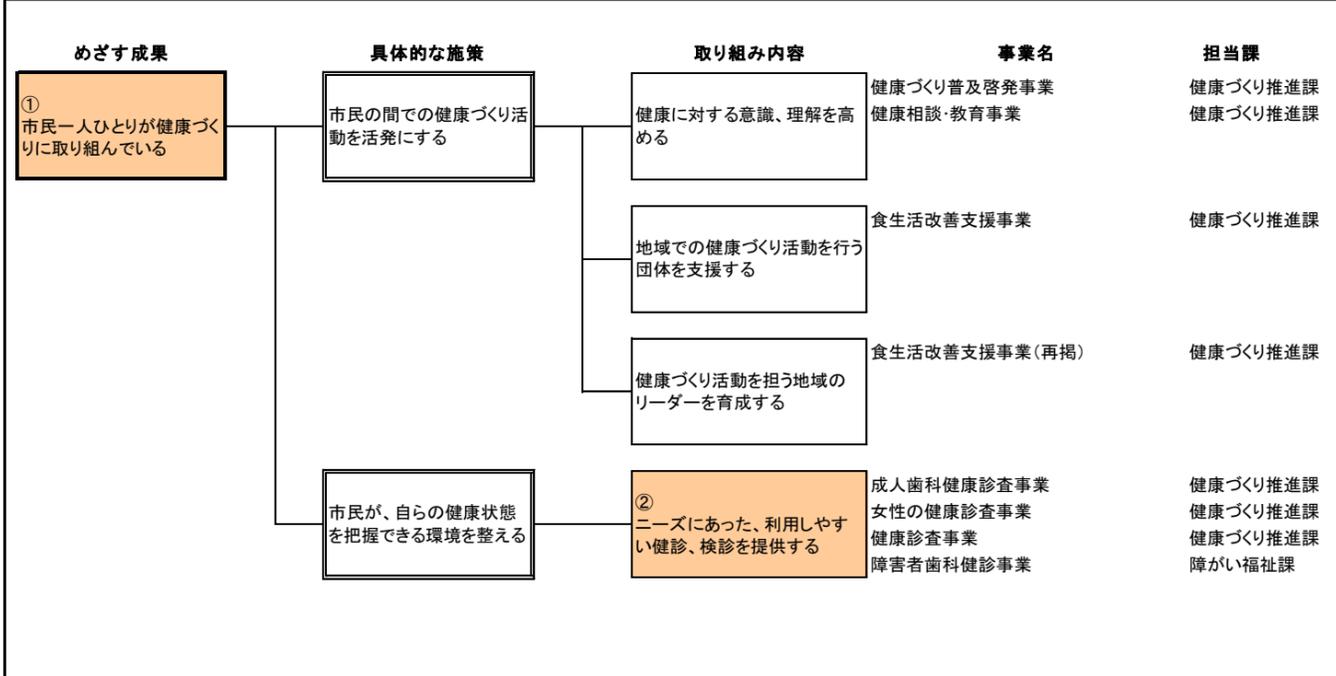


平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

1-1-1 市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる

総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	心身の健康を維持・増進する
	めざす成果	市民一人ひとりが健康診断や各種検診を受診することにより、自らの健康状態を把握し、健康管理に努めています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



*再掲・・・複数の「取り組み内容」に係る事務事業について表示しています。

総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合		肺がん検診受診率	
計画策定時 現状値	60.2%	計画策定時 現状値	4.7%
実績値 (H24)		実績値 (H24)	15.5%
中間目標値 (H23)	69.0%	中間目標値 (H23)	20.0%
目標値 (H25)	75.0%	目標値 (H25)	27.5%

所管部	健康福祉部	
平成24年度までの取り組み内容	<p>【市民の間での健康づくり活動を活発にする】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「めざそう こころの健康 体の健康」をスローガンに地域で健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員の支援を通して、ウォーキングや体操教室、料理教室、健康機器測定会など、地域の特長を生かした健康普及活動を実施しました。 地域での食生活改善活動の担い手を養成するために、食生活改善推進員養成講座を実施するとともに、同推進員の主催による生活習慣病予防教室や調理実習を開催し、地域における食を通じた健康づくりを推進しました。 24時間365日、電話で相談できる「やまと24時間健康相談」事業の普及が進み、月平均で2,000件程度の相談が寄せられるなど、市民に対して安心、安全を提供することができました。 <p>【市民が、自らの健康状態を把握できる環境を整える】</p> <ul style="list-style-type: none"> 5がん検診（肺、胃、大腸、子宮、乳房）と乳がんマンモグラフィ検診を実施し、48,351件の受診がありました。また、市民からの要望が多かった渋谷学習センターでのがん集団検診日程を拡充しました。 	
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康づくり活動が活発になるためには、市や各種団体等がイニシアチブをとり、健康づくりに対する雰囲気地域全体に広げていくことが重要です。今後は、各種団体や関係機関との連携を強化する取り組みが必要になります。 食生活改善のためには、小中学生の保護者などの若年層へのアプローチ及び生涯にわたる間断のない食育の推進も検討していきます。 健康診査、がん検診の受診率を向上するためには、その重要性を理解してもらうことや、受診しやすい環境づくりが必要であり、特に子育て世代の女性について対策を講じていきます。 	
今後の展開方針	注) 例年ごとの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案	・人の健康づくりをより体系的、効果的に推進するために、(仮称)大和市健康づくり計画を策定します。	(該当する事務事業) (仮称)大和市健康づくり計画推進事業
既存事業の拡充	・保健師、管理栄養士を増員し、家庭訪問や地域での健康づくり活動を強化します。 ・18歳～39歳までの女性の健康診査を男性にも拡大して若年健康診査とし、若年層の健康増進に努めます。	(該当する事務事業) 健康相談・教育事業 若年健康診査事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し		(該当する事務事業)